

令和6年度 第2回 紀南高等学校運営協議会 議事概要

日 時	令和6年7月11日(木) 19:00~20:40
場 所	紀南高等学校会議室
出席者 (敬称略)	辻本、西、岩本、山本、長阪、廣畑、田尾、二村、立嶋、藤田 (県教育委員会) 一尾、加藤英、中野 (紀南高校) 辻、込谷、湊、池山
欠席者 (敬称略)	産屋敷、湊、岡本
議 事	<p>1 報告事項</p> <p>(1) 「第1回紀南高等学校学校運営協議会」議事概要について</p> <p>(2) 第2回熊野青藍高等学校ワーキング会議について</p> <p>(3) 特別支援教育に関する研修会について</p> <p>(4) その他 ⇒ なし</p> <p>2 協議事項</p> <p>(1) 熊野青藍高等学校紀南校舎の今後のあり方について</p> <p>三重大学「紀南オープンフィールド構想によるみどりのアントレプレナー共創拠点」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夢のある事業ではある。生徒が「やってみようか」という気持ちが起こるかどうかが大切。三重大に向けて具体案を提案すればよいのではないか。</li> <li>・ 三重大は「地域産業とみかん」に魅力を感じている。地元で育った地域愛を持った生徒が、地域で仕事をする一つの選択肢として農業を考えられるように、魅力ある農業を作っていきたいと考えている。</li> <li>・ 魅力のある話。PRの材料としてよい取組である。</li> </ul> <p>⇒ 三重大は、地方国立大学として地方活性化が一つの命題であり、その一つとして、この地域に入り地域の若者が起業していく手助けをしていく。ターゲットが農業ということ。</p> <p>和歌山県立新宮高校の「学彩探究科」新設について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新宮高校学彩探究科全国募集により、紀南校舎志望者の減少につながるのではないか。和歌山県は戦略的に取り組んでいる。それに対抗するためには、生徒に将来をどう描かせるかが大切。キャリアデザインを持てる高校のあり方を考えなければならない。</li> </ul> <p>⇒ 大学も入学者選抜について検討中。学び続ける学生を求めている。「地域産業とみかん」を探究的な活動にしていき、身につけた力で三重大生物資源</p>
主な意見	

学部への進学をめざしていきたい。また、3市町の公務員試験の受験も促していく。

- ・ 見通しと明確な目的が必要で、それらを地域・保護者に理解させることが重要である。「行きたい」と思わせる説明と実態が必要。高校に行けば「こんな学びができる」「こうなれる」ということを示す。3年間継続的に実施して、その先が見られるようにしないといけない。より危機感を持って考えるべき。生徒が紀南校舎を選ぶ材料にいかにしていくかが重要。産学連携をもっとはつきり出してもいいのではないか。
- ・ 青藍高校について基本的なことがよくわからない。地道な生徒募集と目立つ取組の両方で進めていかなければいけないのではないか。
- ・ 市町職員の技術職不足がある。生徒が将来を描ける取組が必要。  
⇒ モデルケースを示すことは大切。将来、「地域産業とみかん」で進学した生徒が、在校生に対して、研究等の指導をすることができれば、と考えている。
- ・ 新宮高校に生徒が流れるのではないか。  
⇒ 生徒が流れる要素として部活動もある。部活動の地域移行も考えている。
- ・ 中学生の状況としては、勉強に意欲的な生徒は、新宮高校学彩探究科または近大新宮を考えているが、多くの生徒は木本、紀南を志望している。生徒たちは、まだ学校についてははっきりわかっていないため、オープンスクール等で例年以上にしっかりとしたわかりやすい説明をしてもらいたい。
- ・ 中学生の希望は、7月にはぼんやりとしているが、12月にははっきりとしてくる。その要因としてオープンスクールがあり、その内容、説明の仕方が中学生の進路に与える影響は大きい。ここから中学生へいかに訴えかけるかが重要。高校にはこんな先輩がいる、モデルがいるということを見せることが効果的である。
- ・ 支援を必要とする生徒を大切にしてもらいたい。
- ・ 入学者選抜において、和歌山県と三重県を併願するということができるのではないか。  
⇒ 確認しておく。
- ・ 熊野青藍高校チラシについて、紀南校舎の産業マイスター系列の説明に「農林」が抜けている。ぜひ入れてもらいたい。また、土木に関する授業を開設できないか。  
⇒ 「農林水産業」に修正。

(5) その他 ⇒ なし

### 3 連絡事項

- (1) 学校運営協議会は今後、  
第3回 9月26日(木)、第4回 11月28日(木)、  
第5回 3月5日(水) に実施予定
- (2) 紀南高祭：令和6年11月16日(土)
- (3) 配付資料(令和6年度学校要覧・熊野青藍高等学校チラシ・きなん小中学生  
俳句コンクールチラシ・新聞記事)
- (4) その他  
・同窓会より 同窓会開催報告(6月、東京)